
JF T S 2023年度 通常総会資料

- 第1号議案 2022年度事業報告
- 第2号議案 2022年度収支決算
- 第3号議案 2023年度事業計画
- 第4号議案 2023年度収支予算
- 第5号議案 役員の選出

2023年5月20日

日本フードツーリズム学会

第1号議案 2022年度事業報告

(1) 通常総会

- ・日 時：2022年5月21日（土） 10：00～12：00
- ・会 場：ハイブリッド（大阪産業大学梅田サテライト&Zoom）
- ・議 題：第1号議案 2021年度事業報告
 第2号議案 2021年度収支決算
 第3号議案 2022年度事業計画
 第4号議案 2022年度収支予算
 第5号議案 役員の選出（変更）

(2) 理事会

回	開催日	内 容	出席者	会 場
第1回	4月23日（土）	【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・研究分科会（研究支援費）の採択審議 ・年報『フードツーリズム研究』のISSN取得 ・広報（ホームページおよび facebook）の強化 ・2021年度事業報告と決算 ・2022年度事業計画と予算 ・2022年度役員構成の検討 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・総会／第2回理事会のスケジュール ・第5回研究大会の日時と場所 ・年報『フードツーリズム研究』第7号の編集進捗 ・会員の退会 	11名	オンライン
第2回	5月21日（土）	【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度通常総会の進行 ・新入会員の入会審査 ・第3回理事会の日程調整 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・『日本フードツーリズム学会誌』第1号の編集進捗 	11名	ハイブリッド
第3回	8月13日（土）	【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・第5回研究大会 ・新入会員の入会審査 ・第4回理事会の日程調整 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・広報検討チームからの報告 ・フードツーリズムセミナー検討チームからの報告 ・会員状況 	10名	オンライン
第4回	11月20日（土）	【審議事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・第5回研究大会 ・研究分科会 ・第5回理事会の日程調整 【報告事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・フードツーリズムセミナー検討チームからの報告 ・会員現況 	8名	オンライン

(6) 第5回研究大会

- ・日 時：2023年3月4日（土） 13:00~17:00
- ・会 場：東京経済大学国分寺キャンパス
- ・参加者：24名（うち、非会員は5名）
- ・プログラム

①基調講演

信州から食の未来を探る：軽井沢発信のローカルガストロノミー
渡辺万里氏（スペイン料理文化アカデミー主宰）

②研究分科会報告（2件）

震災復興と三陸フードツーリズムに関する研究 [研究代表者：白石恵子]
村上喜郁

大阪産（おおさかもん）を活用したフードツーリズム研究 [研究代表者：平島佳世子]
小川雅司

③研究報告（3件）

まちバルの事業展開と運営事業者との親和性：鹿児島バル街の事例から
葉山幹恭

フィッシュ・マーケットの観光機能についての考察
：シドニー・フィッシュ・マーケットと豊洲市場を事例に
中村忠司

食フェスとフードツーリズムについての一考察
稲本恵子・竹林綾優

(7) 『日本フードツーリズム学会誌』

- ・第1号を2022年5月発行した。
 - *公に認められた逐次刊行物と位置付けるため、ISSN（国際標準逐次刊行物番号）を取得した。
 - *研究成果を社会に広げる目的で、年報『フードツーリズム研究』と同様、『日本フードツーリズム学会誌』も国立国会図書館および公益財団法人味の素の文化センターに納本した。

(8) 研究分科会（研究支援費）の公募

- ・2022年度は2件（うち1件は継続）の研究分科会が採択された。
 - 【新規】大阪産（おおさかもん）を活用したフードツーリズム研究
平島佳世子（研究代表者）・小川雅司・井手裕子・岡恵
 - 【継続】震災復興と三陸フードツーリズムに関する研究
白石恵子（研究代表者）・浅野幸治・王静・高田剛司・村上喜郁

(9) 広報（ホームページおよび facebook）の強化

- ・事務局に設置された広報検討チームを設置し、ホームページおよび facebook のリニューアルを実施、その強化に着手した。
 - *ホームページURL <https://foodtourism.jp/>

(10) 会員数の状況

- 2023年3月31日現在

53名（うち、正会員51名、学生会員2名、賛助会員0名）

*昨年度の同時期から10名増加

なお、顧問（橋爪紳也氏）、名誉会員（佐藤智子氏）については、年会費を徴収しない

第2号議案 2022年度収支決算

2022年度収支決算書 (会計期間：2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：円)

【収入の部】			【支出の部】		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前年度繰越金	480,794	480,794			
会費収入	192,000	235,000	事業費	114,720	255,000
(正会員)	190,000	225,000	(謝金)	50,640	70,000
(学生会員)	2,000	10,000	(旅費交通費)	4,080	20,000
(賛助会員)	0	0	(研究支援費)	60,000	100,000
事業収入	13,000	15,000	(ブランド検討費)	0	20,000
(ゼミナ-参加費)	13,000	15,000	(会場費)	0	40,000
寄付金	0	0	(印刷費)	0	2,000
協賛金	0	0	(消耗品費)	0	3,000
雑収入	5	0	管理費	44,148	55,000
研究支援費(返金分)	500	-	(HP運営費)	39,958	40,000
			(通信費)	4,190	5,000
			(雑費)	0	10,000
合計	686,299	730,794	合計	158,868	310,000
	(205,000)		次年度繰越金	527,431	420,794
				(三井住友銀行)	

監査の結果、上記決算書に間違いのないことを報告いたします。

2023年5月12日 会計監査

岡 恵 康

第3号議案 2023年度事業計画

(1) 通常総会

- ・日時：2023年5月20日（土） 10:00~12:00
- ・会場：オンライン（Zoom）
- ・議題：第1号議案 2022年度事業報告
第2号議案 2022年度収支決算
第3号議案 2023年度事業計画
第4号議案 2023年度収支予算
第5号議案 役員の選出

(2) 理事会

- ・年間5回程度を開催する。

(3) フードツーリズムセミナー

- ・外部講師などを招き、フードツーリズムに関連するセミナーを1~2回開催する。
- ・正会員の獲得も兼ねたセミナーとして、会員および非会員（非会員は有料——入会する場合は無料とする）を対象に、事務局に設置されたフードツーリズムセミナー検討チームが積極的に企画・実施する。
- ・通常総会後に会員を主たる対象として、フードツーリズムセミナーを実施する。
「大阪産（もん）のブランディング」
原田行司氏（大阪府環境農林水産部部長）

(4) 視察研修

- ・本年度は国内でフードツーリズムに関連する視察研修を会員および非会員を対象に1回開催する。場所、内容などは現時点では未定であるが、学会の研究分科会と連携した視察とすることも検討する。
 - ＊視察研修は原則、現地集合・解散とし、必要な交通手配、宿泊等は各自個別に行う。
 - ＊視察研修に関わる謝礼などの経費は参加者で案分負担する。
 - ＊傷害保険等も参加者の責任での加入とし、学会としては事故等については免責とする。
 - ＊上記（3）のフードツーリズムセミナーとして実施する場合もある。

(5) 第6回研究大会

- ・日時：2024年2月上旬（土） 13:00~18:00
場所：名古屋市を中心とした中京圏内
 - ＊詳細は、今後の理事会で検討するが、概ね、第5回研究大会の内容（基調講演、研究分科会報告、研究報告）を踏襲して企画する。

(6) 『日本フードツーリズム学会誌』

- ・第2号の発行に向けて、2023年4月15日に原稿を締め切り、同年5月付けて発行するべく、現在、校正・編集中である。なお、第1号は、6月以降を目途にJ-stageへの公開手続きを進めている。

(7) 研究分科会

- ・2023年2月9日に公募を開始し、3月25日に締切、4月29日の第1回理事会において、以下の2件が採択された。なお、以下の研究分科会への参加を希望する会員は、事務局から研究代表者にアポイントメントを取りますので、学会事務局にご連絡下さい。

【新規】地域固有特性を有するスムージーのフードツーリズムへの展開

野村京子（研究代表者）・藪下保弘・川崎真理子・小畑博正

【継続】大阪産（おおさかもん）を活用したフードツーリズム研究

平島佳世子（研究代表者）・小川雅司・井手裕子・岡恵

*継続は最長2年とし、研究費は前年度の残額を上限とします。

(8) 広報の強化

- ・本学会の存在を広く社会に広めるために、事務局に「広報検討チーム」を設置し、ホームページおよびSNSのさらなる強化を行う。また、昨年度未着手であった学会のブランディングについて、理事会を中心に検討し、1年後を目処に新ロゴの設定を行う。

：広報の強化に関心のある会員のみなさんには、是非とも参画をお願いいたします。参画頂けるかたは事務局までメールでご連絡下さい。

第4号議案 2023年度収支予算

2023年度収支予算書 (会計期間：2023年4月1日～2024年3月31日)					
---	--	--	--	--	--

(単位：円)

【収入の部】			【支出の部】		
科目	予算額	前年度実績	科目	予算額	前年度実績
前年度繰越金	503,511	480,794			
会費収入	340,000	192,000	事業費	250,000	114,720
(正会員)	300,000	190,000	(謝金)	70,000	50,640
(学生会員)	10,000	2,000	(旅費交通費)	10,000	4,080
(賛助会員)	30,000	0	(研究支援費)	90,000	60,000
事業収入	20,000	13,000	(ブランド検討費)	20,000	0
(セミナー参加費)	20,000	13,000	(会場費)	40,000	0
寄付金	0	0	(印刷費)	10,000	0
協賛金	0	0	(消耗品費)	10,000	0
雑収入	0	5	管理費	55,000	44,148
研究支援費(返金分)	—	500	(HP運営費)	40,000	39,958
			(通信費)	5,000	4,190
			(雑費)	10,000	0
合計	863,511	686,299	合計	305,000	158,868
	(315,000)		次年度繰越金	558,511	527,431

<科目別予算計上の考え方>

前年度実績を参考にしながら、次のような考えかたにもとづき予算を計上した。

- 会費収入：正会員60名(3月31日時点で51名)、学生会員5名(3月31日時点で2名)を想定。
 なお、ここには、昨年度の未納者10名からの徴収も含まれる。
 ：本年度は賛助会員の獲得に積極的に取り組む。
- 事業収入：2回の開催(1人当たりのセミナー参加費：会員は1000円、非会員は1500円)を想定。
- 研究分科会：1研究分科会あたり上限5万円とする(継続の1件は昨年度の残金のみ使用可能)。
- 会場費：理事会はオンラインや理事の本務校を積極的に利用するが、研究セミナーなどでその他有料の会議室を利用する場合もあることを想定。

第5号議案 役員の選出

会則により、役員の任期は3年であるため、以下の会員を2023年5月21日から2026年度通常総会まで役員として選出する。

【役員（敬称略）】

会 長：（留任）中村忠司（東京経済大学）

副会長：（留任）村上喜郁（追手門学院大学）

事務局長：（留任）小川雅司（大阪産業大学）

理 事：（留任）青木洋高（株式会社JTBパブリッシング）

（留任）稲本恵子（共栄大学）

（留任）小畑博正（嵯峨美術大学）

（留任）傍嶋則之（名古屋産業大学）

（留任）萩野哲也（一般財団法人関西観光本部）

（留任）平島佳世子（株式会社 Double Doors）

（新任）山原一晃（株式会社JTB）

監 事：（留任）岡恵（弁理士法人オフィス大江山）

（新任）五嶋俊彦（大阪観光大学）